

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

| | |
|------|----------|
| 学校名 | 広島工業大学 |
| 設置者名 | 学校法人 鶴学園 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 学部名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数 | | | | 省令で定める基準単位数 | 配置困難 |
|--|---------------|-----------|-----------------------|---------|------|----|-------------|------|
| | | | 全学共通科目 | 学部等共通科目 | 専門科目 | 合計 | | |
| 工学部 | 電子情報工学科 | 夜・通信 | 0 | 0 | 22 | 22 | 13 | |
| | 電気システム工学科 | 夜・通信 | | | 26 | 26 | 13 | |
| | 機械システム工学科 | 夜・通信 | | | 30 | 30 | 13 | |
| | 知能機械工学科 | 夜・通信 | | | 22 | 22 | 13 | |
| | 環境土木工学科 | 夜・通信 | | | 18 | 18 | 13 | |
| | 建築工学科 | 夜・通信 | | | 20 | 20 | 13 | |
| 情報学部 | 情報工学科 | 夜・通信 | 0 | 0 | 21 | 21 | 13 | |
| | 知的情報システム学科 | 夜・通信 | | | 16 | 16 | 13 | |
| | 情報コミュニケーション学科 | 夜・通信 | | | 14 | 14 | 13 | |
| 環境学部 | 建築デザイン学科 | 夜・通信 | 0 | 0 | 19 | 19 | 13 | |
| | 地球環境学科 | 夜・通信 | | | 20 | 20 | 13 | |
| 生命学部 | 生体医工学科 | 夜・通信 | 0 | 0 | 17 | 17 | 13 | |
| | 食品生命科学科 | 夜・通信 | | | 24 | 24 | 13 | |
| <p>(備考)</p> <p>知的情報システム学科については、学生等の募集を停止しているが在学生在のため、従前の教育課程に基づいて記載している。また、情報コミュニケーション学科については、完成年次に達しておらず、2年次以上の科目は未開講であるため、当該科目は完成年度までの設置計画に基づいて記載している。</p> | | | | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学公式サイトのカリキュラムページに一覧表 PDF を配置して公開

カリキュラムページ URL

<http://www.it-hiroshima.ac.jp/campuslife/information/syllabus.html>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 なし

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|----------|
| 学校名 | 広島工業大学 |
| 設置者名 | 学校法人 鶴学園 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

鶴学園ホームページ（歴代理事長・役員等紹介）
<http://www.tsuru-gakuen.ac.jp/president.html>

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|----------|--------|-----------------------------|----------------------------------|
| 非常勤 | 会社社長 | 2018. 2. 17～ 2022. 2. 16 | 学校法人の運営全般 特命（施設部門）担当 |
| 非常勤 | 会社特別顧問 | 2020. 4. 1～ 2024. 3. 31 | 学校法人の運営全般 特命（企画・地域連携部 門）担当 |
| 非常勤 | 会社会長 | 2019. 4. 1～ 2023. 3. 31 | 学校法人の運営全般 特命（財務部門）担当 |
| (備考) | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|----------|
| 学校名 | 広島工業大学 |
| 設置者名 | 学校法人 鶴学園 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|--|--|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本学では、次年度の授業担当教員決定後(11月頃)、授業担当教員が次年度開講授業科目のシラバスを作成している。シラバスは、授業の目的、履修条件、キーワード、履修上の留意事項、授業内容・方法、到達目標、評価方法及び比率、評価及び評価基準並びに能動的学習の授業手法を記載必須項目としている。</p> <p>なお、授業の目的、キーワード、到達目標については、科目の開講学科でそれぞれ定めているディプロマ・ポリシーと関連させて記載することとしており、カリキュラムの一貫性を担保している。</p> <p>また、授業改善点を記載する項目を設けており、前年度に開講した授業の実施結果(履修者によるアンケート)等を踏まえて、授業内容や方法の改善に努めている。</p> <p>作成されたシラバスについては、シラバス・チェックシートにより、作成者本人及び第三者である関係教員が、ディプロマ・ポリシーとの関連性、事前・事後学修時間、実務経験のある教員による授業科目等の記載を確認している。</p> <p>シラバスの確認が完了した後、授業開講年度の初めに、大学公式サイトにおいて公開し、教職員及び学生に対して、公開の連絡を行っている。</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | シラバスを公開しているページ(大学公式サイト) http://www.it-hiroshima.ac.jp/campuslife/information/syllabus.html |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学では、開講授業科目のシラバスに明示している、試験やレポート、学習意欲(出席等)等の成績評価方法に従い、各授業科目の単位授与を行っている。評価基準については、@:90~100、A:80~89、B:70~79、C:60~69、D:0~59、P:認定とし、それらの基準に基づいて評価している。</p> <p>なお、定められた順に修得しなければ学修成果が見込めない科目については、先に学ぶべき科目の単位修得を、後に学ぶべき科目の履修要件としている。</p> <p>また、シラバスに前年度の科目GPA及び評価分布を可視化し、各科目において適正かつ厳正な評価が行われているかを確認している。</p> | |

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学では、「GPA等の客観的な指標設定」として、以下の算出方法により、GPA及びGPTの数値を算出し、学生の学修成果を示している。

なお、GPA及びGPTを算出するための評語(評価)の基準については、2.に記載のとおりとしている。

また、学生の学修成果はGPAのクラス分布表を用いて可視化し、学生自身が学修について見通しを持って、主体的に取り組むよう促している。

GPT: 履修科目の成績合計値。履修科目ごとの単位数に、履修科目の成績評価に応じたGP(Grade Point)を乗じて得た値の合計で算出する。

ただし、自由科目の修得単位は算出の対象にならない。

<算出方法>

{(履修科目の単位数) × (履修科目の Grade Point) }の合計

| 評語 (評価) | @ | A | B | C | D |
|-------------|---|---|---|---|---|
| Grade Point | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

GPA: 履修科目の成績平均値。履修科目ごとの単位数に、履修科目の成績評価に応じたGP(Grade Point)を乗じて得た値の合計(GPT)を履修科目(未修得の履修科目を含む)の単位数の合計で除して算出し、小数点以下第2位(第3位を四捨五入)までの値で表す。最大値は4.00となる。

{(履修科目の単位数) × (履修科目の Grade Point) }の合計

履修科目(未修得の履修科目を含む)の単位数の合計

GPT/GPAの種類:

【前期 GPT/GPA】 前期の履修科目の成績評価を対象として算出する値

【後期 GPT/GPA】 後期の履修科目の成績評価を対象として算出する値

【当該年度 GPT/GPA】 当該年度の履修科目の成績評価を対象として算出する値

【通算 GPT/GPA】 入学時からの履修科目全ての成績評価を対象として算出する値

客観的な指標の
算出方法の公表方法

- ・ 学生への配付物 CAMPUS GUIDE へ記載。
 - ・ 証明書発行機から発行する学業成績証明書への記載。
 - ・ 保護者への送付物への記載。(チューター面談対象の学生の保護者へ学業成績表とともに送付)
 - ・ 広島工業大学ホームページ
- <http://www.it-hiroshima.ac.jp/campuslife/information/gp.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学では、ディプロマ・ポリシーに基づき、学部・学科ごとに卒業の認定に関する方針を定めている。

ディプロマ・ポリシーは以下のとおりである。

「建学の精神」及び「教育方針」に則り、科学と心理に関わる知識と技術を身に付け、豊かな人間性を有する倫理観ある技術系人材の養成を目的とする。この目的を踏まえ、本学が定める修了要件又は卒業要件を満たし、かつ、次に示す「知識・理解」「思考・判断」「技能・表現」「関心・意欲・態度」を備えた者に対して、博士、修士又は学士の学位を授与する。

- I 【知識・理解】 科学技術に関する知識を得てそれを応用できる。
- II 【思考・判断】 持続可能な社会創出への思考に基づいて適切な対応を考えることができる。
- III 【技能・表現】 幅広い教養と専門知識の汎用的技能を備え、豊かな表現力を身に付けている。
- IV 【関心・意欲・態度】 主体的で継続的な学びへの関心と奉仕の意欲を有し、技術者としての高い倫理観を身に付けている。

なお、卒業の認定については、4年間以上の在学と以下のとおり定めた単位数の修得を要件としている。

【H31年度以前入学生】

【学部別 卒業に必要な単位数】

<工学部>

| 学科名 | 教養教育科目 | | 専門教育科目 | | 合計 |
|-----------|--------|------|--------|------|-----|
| | 必修科目 | 選択科目 | 必修科目 | 選択科目 | |
| 電子情報工学科 | 14 | 16 | 49 | 45 | 124 |
| 電気システム工学科 | | | 49 | 45 | |
| 機械システム工学科 | | | 58 | 36 | |
| 知能機械工学科 | | | 54 | 40 | |
| 環境土木工学科 | | | 56 | 38 | |
| 建築工学科 | | | 57 | 37 | |

<情報学部>

| | | | | | |
|------------|----|----|----|----|-----|
| 情報工学科 | 14 | 16 | 45 | 49 | 124 |
| 知的情報システム学科 | | | 47 | 47 | |

<環境学部>

| | | | | | |
|----------|----|----|----|----|-----|
| 建築デザイン学科 | 14 | 16 | 55 | 39 | 124 |
| 地球環境学科 | | | 43 | 51 | |

<生命学部>

| | | | | | |
|---------|----|----|----|----|-----|
| 生体医工学科 | 24 | 6 | 87 | 22 | 139 |
| 食品生命科学科 | 14 | 16 | 45 | 49 | 124 |

【R2年度以降入学生】

【学部別 卒業に必要な単位数】

<工学部>

| 学科名 | リベラルアーツ教育科目 | | 社会実践教育科目及び専門教育科目 | | 合計 |
|-----------|-------------|------|------------------|------|-----|
| | 必修科目 | 選択科目 | 必修科目 | 選択科目 | |
| 電子情報工学科 | 9 | 15 | 51 | 49 | 124 |
| 電気システム工学科 | | | 54 | 46 | |
| 機械システム工学科 | | | 65 | 35 | |
| 知能機械工学科 | | | 59 | 41 | |
| 環境土木工学科 | | | 58 | 42 | |
| 建築工学科 | | | 65 | 35 | |

<情報学部>

| | | | | | |
|---------------|---|----|----|----|-----|
| 情報工学科 | 8 | 16 | 42 | 58 | 124 |
| 情報コミュニケーション学科 | | | 40 | 60 | |

<環境学部>

| | | | | | |
|----------|---|----|----|----|-----|
| 建築デザイン学科 | 9 | 15 | 51 | 49 | 124 |
| 地球環境学科 | | | 46 | 54 | |

<生命学部>

| | | | | | |
|---------|---|----|----|----|-----|
| 生体医工学科 | 9 | 15 | 96 | 4 | 124 |
| 食品生命科学科 | | | 45 | 55 | |

| | |
|----------------------|---|
| 卒業の認定に関する 方針の公表方法 | <ul style="list-style-type: none">・ 広島工業大学ホームページ http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/policy/・ 大学ポータル（広島工業大学） https://up-j.shigaku.go.jp/school/category01/00000000617301000.html・ 刊行物 CAMPUS GUIDE（新入学生へ配付） |
|----------------------|---|

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

| | |
|------|----------|
| 学校名 | 広島工業大学 |
| 設置者名 | 学校法人 鶴学園 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|--|
| 貸借対照表 | 学校法人鶴学園ホームページ(財政状況) http://www.tsuru-gakuen.ac.jp/finace.html |
| 収支計算書又は損益計算書 | 学校法人鶴学園ホームページ(財政状況) http://www.tsuru-gakuen.ac.jp/finace.html |
| 財産目録 | 学校法人鶴学園ホームページ(財政状況) http://www.tsuru-gakuen.ac.jp/finace.html |
| 事業報告書 | 学校法人鶴学園ホームページ(事業報告) http://www.tsuru-gakuen.ac.jp/report.html |
| 監事による監査報告(書) | 学校法人鶴学園ホームページ(財政状況) http://www.tsuru-gakuen.ac.jp/finace.html |

2. 事業計画(任意記載事項)

| | |
|-------------|---------|
| 単年度計画(名称:) | 対象年度:) |
| 公表方法: | |
| 中長期計画(名称:) | 対象年度:) |
| 公表方法: | |

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

| |
|--|
| 広島工業大学ホームページ(自己点検・評価) http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/evaluate/ |
|--|

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

| |
|--|
| 広島工業大学ホームページ(自己点検・評価) http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/evaluate/ |
|--|

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

| |
|---|
| 学部等名 工学部 |
| 教育研究上の目的 (公表方法 : http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/education/) (概要) 専門的な科学技術の基礎力、創造性教育のための体験学習、学際性及び社会力育成にかかる教育を重視し、ものづくりを通して、社会に奉仕、貢献できる人材を育成する。 |
| 卒業の認定に関する方針 (公表方法 : http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/policy/) (概要) 工学部では、社会の持続的な発展を支える実践的なものづくり関連の教養と専門知識を身に付け、次世代の技術革新の担い手として、高度な専門能力と創造性を兼ね備え、強い責任感を持って自律的な行動ができる技術者を養成することを目的とする。この目的を踏まえ、本学が定める卒業要件を満たすとともに、次の要件を備えた者に、学士の学位を授与する。 I 【知識・理解】 ものづくりの基盤となる工学分野について、技術者に求められる幅広い教養を身に付け、基礎学力と専門知識を体系的に持ち、新しい問題に応用できる。 II 【思考・判断】 修得した専門分野の知識と情報技術を活用し、創造的かつ論理的な思考力と問題解決のために必要な判断力を持って、社会の要求に対応できる。 III 【技能・表現】 修得した知識をもとに、自らの考えを文章化あるいは図式化して、その情報や技能を正確に表現し、伝えることができる。 IV 【関心・意欲・態度】 グローバルな視野に立って問題解決に向け他者と協働し、職業を通じて社会に貢献・奉仕でき、技術者としての使命感と倫理観を持って責任ある行動ができる。 |
| 教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/policy/) (概要) 工学部は、広島工業大学の教育課程の編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) をもとに、工学部の卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) を踏まえて教育課程を編成する。教育課程は、幅広い知識をもとに総合的判断力を備えた豊かな人間性を育むリベラルアーツ教育科目、社会を意識した実践的な内容に取組むことにより、高い倫理観とコンピテンシーを持つ技術者となることを目的とした社会実践教育科目、工学に関する諸問題に立ち向かっていくための専門分野の基礎知識や技術を修得することを目的とした専門教育科目及びその他の教育科目で構成する。また、シラバスにより授業科目の詳細を明示するとともに、授業科目を必修、選択及び自由科目に区分し、カリキュラム・ツリーにより学びの順次性をもって編成する。 |
| 入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/policy/) (概要) 工学部では、ディプロマ・ポリシーに基づき、工学に関するものづくり関連知識と技能に深い関心を持ち、その課題発見と解決の意欲に溢れ、人間力豊かな人材を育成するために、次のような入学者を求めている。 <知識・技能> 工学を学ぶ上で必要な「数学」「理科」「英語」などの基礎科目について、高等学 |

| |
|--|
| <p>校の教科書レベルの基礎的な知識を有し、主体的な学修に意欲を持つ人。</p> <p><思考力・判断力・表現力等の能力></p> <p>工学を志向し、物事を多面的に思考して判断した上で、自分の考えを論理的に表現し、伝える能力を持つ人。</p> <p><主体性を持ち多様な人々と協働して学ぶ態度></p> <p>工学技術における様々な問題に関心を持ち、課題を解決するために、他者と協働しながら、身に付けた知識を役立てたいという意欲を持つ人。</p> <p>○入学者選抜の方針</p> <p>工学部では、上記に示す人材を選抜することを目的とし、次の入学試験制度を設けている。</p> <p>AO入学試験では、調査書、課題、面接、グループ討論又は作業により、工学分野における能力、意欲及び適性を多面的かつ総合的に評価する。</p> <p>併願推薦入学試験では、学力検査により「英語」「数学」の基本的な学力を、また、調査書により、学びたい意志を示す活動実績を評価する。</p> <p>専願推薦入学試験では、学力検査により「英語」「数学」の基本的な学力を、また、グループ面接または討論により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を評価する。</p> <p>指定校推薦入学試験では、面接及び調査書により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を評価する。</p> <p>一般入学試験（A日程及びB日程）では、学力検査により「英語」「数学」「理科（物理、化学のいずれか）」の学力を評価する。</p> <p>一般入学試験（C日程）では、学力検査により「英語」「数学」の学力を評価するとともに、面接により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を評価する。</p> <p>大学入試センター試験利用入学試験では、大学入試センター試験の成績により「外国語」「数学」「理科」の学力を評価する。</p> |
|--|

| |
|--|
| 学部等名 情報学部 |
| 教育研究上の目的（公表方法： http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/education/ ） |
| （概要）社会生活に密着した情報学について研究教授を行い、高度情報化社会の形成に貢献できる学識を備えた、情報関連技術の中核を担う人材を育成する。 |
| 卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/policy/ ） |
| （概要）社会生活及び経済活動を支える情報学の広範囲にわたる高度な知識を修得するとともに、情報学に関わる先端技術及びその実践力を身に付けることで、他者と協調しながらグローバル化した高度情報化社会の形成に貢献する人材を養成することを目的とする。この目的を踏まえ、本学が定める卒業要件を満たすと同時に、次の要件を備えた者に、学士の学位を授与する。 |
| <p>I【知識・理解】</p> <p>社会生活の基盤となる情報学の学問体系を理解し、その広範囲にわたる高度な専門知識と幅広い教養を身に付けることで、社会における課題を解決できる。</p> <p>II【思考・判断】</p> <p>グローバル化した高度情報化社会を高い英知と環境意識を持って論理的に思考し、他者と協調しながら、課題を解決するために判断できる。</p> <p>III【技能・表現】</p> <p>社会生活で取扱う膨大な情報を、高度に処理する高い技能を有するとともに、ものごとに対する自らの考えを適切かつ平易に表現できる。</p> <p>IV【関心・意欲・態度】</p> <p>社会に対する深い関心を持ち、修得した知識を応用して社会における課題を解決す</p> |

る意欲を有し、高い倫理観を持って社会に貢献できる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：<http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/policy/>)

(概要) 情報学部は、広島工業大学の教育課程の編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)をもとに、情報学部の卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を踏まえて教育課程を編成する。教育課程は、国際感覚と幅広い教養を備え、広い視野と豊かな人間性を育むリベラルアーツ教育科目、社会を意識した実践的な内容に取り組むことにより、高い倫理観とコンピテンシーを持つ技術者となることを目的とした社会実践教育科目、高度情報化社会の形成に貢献する基礎知識や技術を修得することを目的とした専門教育科目及びその他の教育科目で構成する。また、シラバスにより授業科目の詳細を明示するとともに、授業科目を必修、選択及び自由科目に区分し、カリキュラム・ツリーにより学びの順次性をもって編成する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/policy/>)

(概要) 情報学部では、ディプロマ・ポリシーに基づき、情報に関するものづくり関連知識と技能に深い関心を持ち、その課題発見と解決の意欲に溢れ、人間力豊かな人材を育成するために、次のような入学者を求めている。

<知識・技能>

情報学を学ぶ上で必要な「数学」「理科」「英語」「国語」「地理歴史、公民」などの基礎科目について、高等学校の教科書レベルの基礎的な知識を有し、主体的な学修に意欲を持つ人。

<思考力・判断力・表現力等の能力>

情報学を志向し、物事を多面的に思考して判断した上で、自分の考えを論理的に表現し、伝える能力を持つ人。

<主体性を持ち多様な人々と協働して学ぶ態度>

地域社会や国際社会における様々な問題に関心を持ち、課題を解決するために、他者と協働しながら、身に付けた知識を役立てたいという意欲を持つ人。

○入学者選抜の方針

情報学部では、上記に示す人材を選抜することを目的とし、次の入学試験制度を設けている。

AO入学試験では、調査書、課題、面接、グループ討論又は作業により、情報学分野における能力、意欲及び適性を多面的かつ総合的に評価する。

併願推薦入学試験では、学力検査により「英語」「数学」の基本的な学力を、また、調査書により、学びたい意志を示す活動実績を評価する。

専願推薦入学試験では、学力検査により「英語」「数学」の基本的な学力を、また、グループ面接または討論により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を評価する。

指定校推薦入学試験では、面接及び調査書により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を評価する。

一般入学試験(A日程及びB日程)では、学力検査により「英語」「数学」「理科(物理、化学のいずれか)」の学力を評価する。

一般入学試験(C日程)では、学力検査により「英語」「数学」の学力を評価するとともに、面接により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を評価する。

大学入試センター試験利用入学試験では、大学入試センター試験の成績により「外国語」「数学」「理科」の学力を評価する。

なお、情報コミュニケーション学科については、上記入学試験制度に加え、次の入試制度を設けている。

| |
|---|
| <p>一般入学試験（A日程及びB日程）では、学力検査により「英語」「数学又は国語」「地理歴史、公民」の学力を評価する。</p> <p>大学入試センター試験利用入学試験（A日程及びB日程）では、大学入試センター試験の成績により「外国語」「数学」「国語」「地理歴史、公民」のいずれか3科目の学力を評価する。</p> |
|---|

| |
|---|
| <p>学部等名 環境学部</p> |
| <p>教育研究上の目的（公表方法：http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/education/）</p> <p>（概要）自然環境系、社会環境系及び人間環境系の分野を融合した新しい概念の上に立ち、良好な環境の保全や形成を行う観点から物事を考察できる姿勢と能力を有した人材を育成する。</p> |
| <p>卒業の認定に関する方針（公表方法：http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/policy/）</p> <p>（概要）環境学部では、自然環境系、社会環境系及び人間環境系を融合した新しい領域の学修を通して幅広い教養を身に付け、グローバルな視野を持ち、良好な環境の保全並びに環境共生型社会創生を行う視点と能力を身に付けた人材を養成することを目的とする。この目的を踏まえ、本学が定める卒業要件を満たすとともに、次の要件を備えた者に、学士の学位を授与する。</p> <p>I 【知識・理解】 地球環境と居住環境を主題にした生活環境に関わる幅広い教養と知識を修得し、様々な環境問題の解決と環境共生型社会創生に向けた方策を理解できる。</p> <p>II 【思考・判断】 地球環境と居住環境との持続的共生を基本にして、創造的かつ論理的に思考でき、環境共生型・循環型社会の構築に向けて、社会の要求に対応できる。</p> <p>III 【技能・表現】 多様な課題に対して幅広い知識をもとに、広く用い得る技能を有し、自らの考えを文章化あるいは図式化して、正確にわかりやすく表現することができる。</p> <p>IV 【関心・意欲・態度】 地球環境と居住環境に関わる様々な事象と課題への関心を継承し、社会貢献への意欲を持って、技術者としての高い倫理観を有し、責任ある行動ができる。</p> |
| <p>教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/policy/）</p> <p>（概要）環境学部は、広島工業大学の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）をもとに、環境学部の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえて教育課程を編成する。教育課程は、幅広い知識と見識を持った豊かな人間性を育むリベラルアーツ教育科目、社会を意識した実践的な内容に取り組むことにより、高い倫理観とコンピテンシーを持つ技術者となることを目的とした社会実践教育科目、環境を考慮したより良い社会をつくるための基礎知識や技術を修得することを目的とした専門教育科目及びその他の教育科目で構成する。また、シラバスにより授業科目の詳細を明示するとともに、授業科目を必修、選択及び自由科目に区分し、カリキュラム・ツリーにより学びの順次性をもって編成する。</p> |
| <p>入学者の受入れに関する方針 （公表方法：http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/policy/）</p> <p>（概要）環境学部では、ディプロマ・ポリシーに基づき、自然環境、社会環境及び人間環境に関するものづくり関連知識と技能に深い関心を持ち、その課題発見と解決の意欲に溢れ、人間力豊かな人材を育成するために、次のような入学者を求めている。</p> |

| |
|---|
| <p><知識・技能> 環境学を学ぶ上で必要な「数学」「理科」「英語」「国語」「地理歴史、公民」などの基礎科目について、高等学校の教科書レベルの基礎的な知識を有し、主体的な学修に意欲を持つ人。</p> <p><思考力・判断力・表現力等の能力> 環境学を志向し、物事を多面的に思考して判断した上で、自分の考えを論理的に表現し、伝える能力を持つ人。</p> <p><主体性を持ち多様な人々と協働して学ぶ態度> 自然環境、社会環境及び人間環境における様々な問題に関心を持ち、課題を解決するために、他者と協働しながら、身に付けた知識を役立てたいという意欲を持つ人。</p> <p>○入学者選抜の方針 環境学部では、上記に示す人材を選抜することを目的とし、次の入学試験制度を設けている。</p> <p>AO入学試験では、調査書、課題、面接、グループ討論又は作業により、環境学分野における能力、意欲及び適性を多面的かつ総合的に評価する。</p> <p>併願推薦入学試験では、学力検査により「英語」「数学」の基本的な学力を、また、調査書により、学びたい意志を示す活動実績を評価する。</p> <p>専願推薦入学試験では、学力検査により「英語」「数学」の基本的な学力を、また、グループ面接または討論により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を評価する。</p> <p>指定校推薦入学試験では、面接及び調査書により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を評価する。</p> <p>一般入学試験（A日程及びB日程）では、学力検査により「英語」「数学」「理科（物理、化学、生物のいずれか）」の学力を評価する。</p> <p>一般入学試験（C日程）では、学力検査により「英語」「数学」の学力を評価するとともに、面接により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を評価する。</p> <p>大学入試センター試験利用入学試験では、大学入試センター試験の成績により「外国語」「数学」「理科」の学力を評価する。</p> <p>なお、建築デザイン学科については、上記入学試験制度に加え、次の入試制度を設けている。</p> <p>一般入学試験（A日程及びB日程）では、学力検査により「英語」「数学又は国語」「地理歴史、公民」の学力を評価する。</p> <p>大学入試センター試験利用入学試験（A日程及びB日程）では、大学入試センター試験の成績により「外国語」「数学」「国語」「地理歴史、公民」のいずれか3科目の学力を評価する。</p> |
|---|

| |
|--|
| 学部等名 生命学部 |
| 教育研究上の目的（公表方法： http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/education/ ） |
| （概要）工学分野に保健衛生及び農学分野を含めた学際領域として研究教授を行い、健康な社会の形成に貢献できる学識と豊かな人間性を備えた生命関連技術の中核的・実践的専門的職業を担う人材を育成する。 |
| 卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/policy/ ） |

(概要) 生命学部では、工学的立場から人の生命に深くかかわる生体医工学分野と、生命科学を基盤として食品を捉える食品生命科学分野において、健康で長寿な社会形成や将来予測される地球規模の食糧不足問題への対応に貢献できる人材を養成することを目的とする。この目的を踏まえ、本学が定める卒業要件を満たすとともに、次の要件を備えた者に、学士の学位を授与する。

I 【知識・理解】

幅広い教養とともに、基礎医学の知識や先端医療機器に関する工学的知識、又は微生物・バイオテクノロジーや食品に関わる専門的知識を身に付けている。

II 【思考・判断】

医療のサービスや食品製造技術の提供者の立場から、解決すべき課題に対して総合的に思考し、適切な対応を判断する能力がある。

III 【技能・表現】

生体医工学又は食品生命科学に関する課題を解決するための実践的な技能を有するとともに、自らの考えを分かりやすく表現し、伝えることができる。

IV 【関心・意欲・態度】

常に生体医工学又は食品生命科学に関わる社会的課題に関心を持ち、その解決や改善に向けて積極的に奉仕・貢献する意欲を有し、併せて生命倫理と礼節に基づく素養を身に付けている。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：<http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/policy/>)

(概要) 生命学部は、広島工業大学の教育課程の編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)をもとに、生命学部の卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を踏まえて教育課程を編成する。教育課程は、広い視野で人と物との関係を思考できる豊かな人間性を育むリベラルアーツ教育科目、社会を意識した実践的な内容に取り組むことにより、高い倫理観とコンピテンシーを持つ技術者となることを目的とした社会実践教育科目、健康な社会を創出するための基礎知識や技術を修得することを目的とした専門教育科目及びその他の教育科目で構成する。また、シラバスにより授業科目の詳細を明示するとともに、授業科目を必修、選択及び自由科目に区分し、カリキュラム・ツリーにより学びの順次性をもって編成する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/policy/>)

(概要) 生命学部では、ディプロマ・ポリシーに基づき、健康な社会の形成に関するものづくり関連知識と技能に深い関心を持ち、その課題発見と解決の意欲に溢れ、人間力豊かな人材を育成するために、次のような入学者を求めている。

<知識・技能>

生体医工学又は食品生命科学を学ぶ上で必要な「数学」「理科」「英語」などの基礎科目について、高等学校の教科書レベルの基礎的な知識を有し、主体的な学修に意欲を持つ人。

<思考力・判断力・表現力等の能力>

生体医工学又は食品生命科学を志向し、物事を多面的に思考して判断した上で、自分の考えを論理的に表現し、伝える能力を持つ人。

<主体性を持ち多様な人々と協働して学ぶ態度>

健康な社会の形成における様々な問題に関心を持ち、課題を解決するために、他者と協働しながら、身に付けた知識を役立てたいという意欲を持つ人。

○入学者選抜の方針

生命学部では、上記に示す人材を選抜することを目的とし、次の入学試験制度を設けている。

AO入学試験では、調査書、課題、面接、グループ討論又は作業により、生体医工学又は食品生命科学分野における能力、意欲及び適性を多面的かつ総合的に評価する。

併願推薦入学試験では、学力検査により「英語」「数学」の基本的な学力を、また、調査書により、学びたい意志を示す活動実績を評価する。

専願推薦入学試験では、学力検査により「英語」「数学」の基本的な学力を、また、グループ面接または討論により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を評価する。

指定校推薦入学試験では、面接及び調査書により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を評価する。

一般入学試験（A日程及びB日程）では、学力検査により「英語」「数学」「理科（物理、化学、生物のいずれか）」の学力を評価する。

一般入学試験（C日程）では、学力検査により「英語」「数学」の学力を評価するとともに、面接により、技術を学びたいという具体的かつ強い意志を評価する。

大学入試センター試験利用入学試験では、大学入試センター試験の成績により「外国語」「数学」「理科」の学力を評価する。

②教育研究上の基本組織に関すること

広島工業大学ホームページ（組織）
<http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/summary/organization.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

| a. 教員数（本務者） | | | | | | | |
|------------------------------------|--------|--|-----|----|----|-----------|------|
| 学部等の組織の名称 | 学長・副学長 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 その他 | 計 |
| － | 2人 | － | | | | | 2人 |
| 工学部 | － | 59人 | 28人 | 0人 | 3人 | － | 90人 |
| 情報学部 | － | 18人 | 10人 | 3人 | 1人 | － | 32人 |
| 環境学部 | － | 16人 | 10人 | 2人 | 2人 | － | 30人 |
| 生命学部 | － | 11人 | 12人 | 1人 | 0人 | － | 24人 |
| その他 | － | 0人 | 0人 | 7人 | 0人 | － | 7人 |
| b. 教員数（兼務者） | | | | | | | |
| 学長・副学長 | | 学長・副学長以外の教員 | | | | | 計 |
| 0人 | | 164人 | | | | | 164人 |
| 各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等） | | 広島工業大学ホームページ（教員の業績） http://www.it-hiroshima.ac.jp/performance.html | | | | | |
| c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項） | | | | | | | |
| | | | | | | | |

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

| 学部等名 | 入学定員 (a) | 入学者数 (b) | b/a | 収容定員 (c) | 在学生数 (d) | d/c | 編入学 定員 | 編入学 者数 |
|------|-------------|-------------|--------|-------------|-------------|--------|-----------|-----------|
| 工学部 | 550人 | 584人 | 106.2% | 2,200人 | 2,375人 | 108.0% | 若干名 | 5人 |
| 情報学部 | 220人 | 235人 | 106.8% | 850人 | 918人 | 108.0% | 若干名 | 3人 |
| 環境学部 | 170人 | 176人 | 103.5% | 710人 | 781人 | 110.0% | 若干名 | 0人 |
| 生命学部 | 140人 | 131人 | 93.6% | 560人 | 477人 | 85.2% | 若干名 | 0人 |
| 合計 | 1,080人 | 1,126人 | 104.3% | 4,320人 | 4,551人 | 105.3% | 若干名 | 8人 |
| (備考) | | | | | | | | |

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

| 学部等名 | 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
|----------------------|------------------|---------------|-------------------|----------------|
| 工学部 | 520人 (100%) | 31人 (6.0%) | 477人 (91.7%) | 12人 (2.3%) |
| 情報学部 | 193人 (100%) | 14人 (7.3%) | 171人 (88.6%) | 8人 (4.1%) |
| 環境学部 | 161人 (100%) | 8人 (5.0%) | 147人 (91.3%) | 6人 (3.7%) |
| 生命学部 | 126人 (100%) | 2人 (1.6%) | 105人 (83.3%) | 19人 (15.1%) |
| 合計 | 1,000人 (100%) | 55人 (5.5%) | 900人 (90.0%) | 45人 (4.5%) |
| (主な進学先・就職先) (任意記載事項) | | | | |
| (備考) | | | | |

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

| 学部等名 | 入学者数 | 修業年限期間内 卒業生数 | 留年者数 | 中途退学者数 | その他 |
|------|-------------|-----------------|----------|----------|----------|
| | 人 (100%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) |
| | 人 (100%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) |
| 合計 | 人 (100%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) |
| (備考) | | | | | |

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

本学では、次年度の授業担当教員決定後（11月頃）、授業担当教員が次年度開講授業科目のシラバスを作成している。シラバスは、授業の目的、履修条件、キーワード、履修上の留意事項、授業内容・方法、到達目標、評価方法及び比率、評価及び評価基準並びに能動的学習の授業手法を記載必須項目としている。

なお、授業の目的、キーワード、到達目標については、科目の開講学科でそれぞれ定めているディプロマ・ポリシーと関連させて記載することとしており、カリキュラムの一貫性を担保している。

また、授業改善点を記載する項目を設けており、前年度に開講した授業の実施結果（履修者によるアンケート）等を踏まえて、授業内容や方法の改善に努めている。

作成されたシラバスについては、シラバス・チェックシートにより、作成者本人及び第三者である関係教員が、ディプロマ・ポリシーとの関連性、事前・事後学習時間、実務経験のある教員による授業科目等の記載を確認している。

シラバスの確認が完了した後、授業開講年度の初めに、大学公式サイトにおいて公開し、教職員及び学生に対して、公開の連絡を行っている。

学生は、履修申請する際、シラバスに記載されているディプロマ・ポリシーに基づく獲得する知識や能力と各授業科目の関連性や順次性をカリキュラム・ツリーで確認しながら、年間の授業計画を行っている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

本学では、「GPA等の客観的な指標設定」として、GPA及びGPTの数値を算出し、学生の学修成果を示している。

なお、GPA及びGPTを算出するための評語（評価）の基準については、以下に記載している。

また、学生の学修成果をGPAのクラス分布表を用いて可視化し、学生自身が学修について見通しを持って、主体的に取り組むよう促している。

卒業及び修了の認定にあつては、4年間の在学と卒業に必要な単位数の修得を要件としている。

なお、年間履修単位数の上限を設けることで、事前・事後学習に必要な時間を確保し、単位の実質化を図っている。

GPT：履修科目の成績合計値。履修科目ごとの単位数に、履修科目の成績評価に応じたGP(Grade Point)を乗じて得た値の合計で算出する。

ただし、自由科目の修得単位は算出の対象にならない。

<算出方法>

{(履修科目の単位数) × (履修科目のGrade Point)}の合計

| | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|
| 評語（評価） | @ | A | B | C | D |
| Grade Point | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |

GPA：履修科目の成績平均値。履修科目ごとの単位数に、履修科目の成績評価に応じたGP(Grade Point)を乗じて得た値の合計(GPT)を履修科目（未修得の履修科目を含む）の単位数の合計で除して算出し、小数点以下第2位(第3位を四捨五入)までの値で表す。最大値は4.00となる。

{(履修科目の単位数) × (履修科目の Grade Point) }の合計
履修科目 (未修得の履修科目を含む) の単位数の合計

GPT/GPA の種類 :

【前期 GPT/GPA】 前期の履修科目の成績評価を対象として算出する値

【後期 GPT/GPA】 後期の履修科目の成績評価を対象として算出する値

【当該年度 GPT/GPA】 当該年度の履修科目の成績評価を対象として算出する値

【通算 GPT/GPA】 入学時からの履修科目全ての成績評価を対象として算出する値

【H31 年度以前入学生】

| 学部名 | 学科名 | 卒業に必要となる 単位数 | G P A制度の採用 (任意記載事項) | 履修単位の登録上限 (任意記載事項) |
|------|------------|-----------------|------------------------|-----------------------|
| 工学部 | 電子情報工学科 | 124 単位 | 有 | 46 単位 |
| | 電気システム工学科 | 124 単位 | 有 | 46 単位 |
| | 機械システム工学科 | 124 単位 | 有 | 46 単位 |
| | 知能機械工学科 | 124 単位 | 有 | 46 単位 |
| | 環境土木工学科 | 124 単位 | 有 | 46 単位 |
| | 建築工学科 | 124 単位 | 有 | 46 単位 |
| 情報学部 | 情報工学科 | 124 単位 | 有 | 46 単位 |
| | 知的情報システム学科 | 124 単位 | 有 | 46 単位 |
| 環境学部 | 建築デザイン学科 | 124 単位 | 有 | 46 単位 |
| | 地球環境学科 | 124 単位 | 有 | 46 単位 |
| 生命学部 | 生体医工学科 | 139 単位 | 有 | 58 単位 |
| | 食品生命科学科 | 124 単位 | 有 | 46 単位 |

【R2 年度以降入学生】

| 学部名 | 学科名 | 卒業に必要となる 単位数 | G P A制度の採用 (任意記載事項) | 履修単位の登録上限 (任意記載事項) |
|----------------------------|---------------|---|------------------------|-----------------------|
| 工学部 | 電子情報工学科 | 124 単位 | 有 | 40 単位 |
| | 電気システム工学科 | 124 単位 | 有 | 40 単位 |
| | 機械システム工学科 | 124 単位 | 有 | 40 単位 |
| | 知能機械工学科 | 124 単位 | 有 | 40 単位 |
| | 環境土木工学科 | 124 単位 | 有 | 40 単位 |
| | 建築工学科 | 124 単位 | 有 | 40 単位 |
| 情報学部 | 情報工学科 | 124 単位 | 有 | 40 単位 |
| | 情報コミュニケーション学科 | 124 単位 | 有 | 40 単位 |
| 環境学部 | 建築デザイン学科 | 124 単位 | 有 | 40 単位 |
| | 地球環境学科 | 124 単位 | 有 | 40 単位 |
| 生命学部 | 生体医工学科 | 124 単位 | 有 | 52 単位 |
| | 食品生命科学科 | 124 単位 | 有 | 40 単位 |
| G P Aの活用状況 (任意記載事項) | | 公表方法 : 大学ポータル 広島工業大学 (GPA の活用) https://up-j.shigaku.go.jp/school/category02/00000000617301000.html | | |
| 学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項) | | 公表方法 : 広島工業大学ホームページ (お知らせ) http://www.it-hiroshima.ac.jp/news/faculty/ | | |

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : 大学公式 HP [キャンパスマップ]

<http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/access/itsukaichi/campus.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

| 学部名 | 学科名 | 授業料 (年間) | 入学金 | その他(年額) 施設設備資金 | 備考(任意記載事項) |
|------|---------------|-------------|----------|-------------------|--|
| 工学部 | 電子情報工学科 | 1,120,000円 | 250,000円 | 220,000円 | 授業料は入学時の額を在学期間中適用し、施設設備資金は2年次以降は入学時の額から年額40,000円増額となります。 |
| | 電気システム工学科 | 1,120,000円 | 250,000円 | 220,000円 | |
| | 機械システム工学科 | 1,120,000円 | 250,000円 | 220,000円 | |
| | 知能機械工学科 | 1,120,000円 | 250,000円 | 220,000円 | |
| | 環境土木工学科 | 1,120,000円 | 250,000円 | 220,000円 | |
| | 建築工学科 | 1,120,000円 | 250,000円 | 220,000円 | |
| 情報学部 | 情報工学科 | 1,120,000円 | 250,000円 | 220,000円 | |
| | 情報コミュニケーション学科 | 1,120,000円 | 250,000円 | 220,000円 | |
| 環境学部 | 建築デザイン学科 | 1,120,000円 | 250,000円 | 220,000円 | |
| | 地球環境学科 | 1,120,000円 | 250,000円 | 220,000円 | |
| 生命学部 | 生体医工学科 | 1,120,000円 | 250,000円 | 320,000円 | |
| | 食品生命科学科 | 1,120,000円 | 250,000円 | 220,000円 | |

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

| |
|---|
| a. 学生の修学に係る支援に関する取組 |
| (概要) <ul style="list-style-type: none"> 入学前教育：本学の全入学試験合格者に対し、合格時期に応じた、さまざまな入学前教育を実施しています。各学科の専門分野と基礎・基本となる教科(英語・数学・物理)の学習をサポートするとともに、学習習慣を定着させることを目的とし、e-Learningや大学でのセミナーといった多様な学習の機会を提供しています。 教育学習支援センター：元高校教員が常駐し、英語・数学・物理に関する質問・相談に常時対応し、年間5,648人の利用者がいます。 |
| b. 進路選択に係る支援に関する取組 |
| (概要) <ul style="list-style-type: none"> 教員は、学生へのキャリア教育支援と就職・進路指導を重要任務の一つとして取組んでいる。具体的には、卒業研究指導教員の個別指導を基本に、学科で選出した就職委員と就職部が連携し、学生向け行事やセミナー、ガイダンスの実施に加え、個別相談などに取組んでいる。 |
| c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 |
| (概要) [保健室による取組み] <ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断：学校保健安全法に基づき、全学年を対象とした健康診断を毎年4月に実施している。その後、有所見者への対応や健康診断証明書発行に向けて必要な指導・支援を行っている。 学校医による健康相談：毎週火曜日に学校医による健康相談を実施している。診察の結果によっては、応急処置や専門医へ紹介している。 応急処置：通学途中、講義及び課外教育活動中、実験及び実習中等に不慮の事故や疾病が発生した場合、ただちに応急処置を行い、状態によっては専門医に移送している。 [学生相談室による取組] <ul style="list-style-type: none"> カウンセラー・相談員による心理相談：学生相談室のスタッフ5名(教員1名、臨床心理士のカウンセラー4名)が、様々な悩みの相談に対応している。必要に応じて、関係教職員や保護者との連携も交えながらサポートしている。また、教職員や保護者からの学生支援に関する相談にも対応している。 |

・学生への教育活動および教職員への啓発活動：個別の相談以外にも、学生への教育活動（心理的支援に関する講義・研修等）や、教職員への学生支援に関する啓発活動などにも取り組んでいる。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：・広島工業大学ホームページ
<http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/education/>